

3年ぶりに会員交流を兼ねた研修旅行を実施しました

コロナウィルスが蔓延してはや3年。

支部としての事業は、どうしても案内から開催まで日数を要することから、コロナ禍での実施は難しく、田村支部の行事もことごとく中止せざるを得ませんでした。

どうしても計画していた事業の実施に踏み切れませんでした。会員の方々から、「まだやるべきではない」「何かしら行動を起こしてもいいのではないか」などいろいろな声が聞こえてきました。

役員会での検討を重ね、国内での行動にも変化が出てきていることから、年度当初10月1日(土)に実施予定だった計画を、11月12日(土)に延期し、案内を出すこととしました。もちろん、実施に当たっては、コロナ感染防止について徹底すること、事業実施時期にコロナウィルスの猛威が予想できる場合は中止にすることなどを確認しました。研修コースについても、例年よりも身近なコースを計画しました。

おかげさまで、無事に楽しく充実した研修旅行を実施することができました。

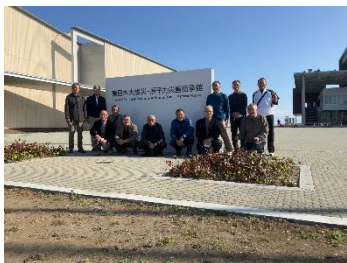
見学個所は、「東日本大震災・原子力災害伝承館」及び「震災遺構浪江町立請戸小学校」でしたが、車窓からの、荒れ果てたままの田畑、空き家となった建物、さび付いた生活空間なども大きな見学機会となり、まだまだ復興途中であることをしみじみ痛感してきました。

その後、「いこいの村なみえ」で3年ぶりの食事を兼ねた懇親会を行い、さらに、「道の駅なみえ」まで足を延ばし帰路につきました。

12名の参加者でしたが、25人乗りの貸し切りバスでしっかりソーシャルディスタンスを保ちながらも、久々に顔を合わせマスク越しの会話にも花が咲いていました。

令和5年度事業は、また以前のように計画通りに実施できることを心から願っています。

伝
承
館



請
戸
小

